

【緑地の樹】

ヌルデ

下の道から緑地に入る登り口のそばに、ヌルデの木を見つけました。羽状複葉の葉ですが、小葉と小葉の間の軸に、ひれがついています。いったい何のためにこんなものがついているのか・・・

そしてその葉には小さい虫こぶがいっぱいついていました。これはヌルデハイボケフシというものだそうで、ハイボケとはなんとひどい名前！とびっくりします。でも実は、ハ（葉）にイボ（疣）のようについた、ケ（毛）のあるフシ（虫こぶ）の意味だそうです。

ところで、ヌルデにはもっと大きな虫こぶ（ヌルデミミフシ）がつくこともあるそうです。その虫こぶにはタンニンが多く含

プロフィール：ウルシ科ウルシ属の落葉小

まれていて、江戸時代にはお歯黒や白髪染めなどに使われたとか。今度そんな虫こぶを見つけたら、染めてみましょうか。

（小川）

